

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「新幹線延伸後の金沢との民間交流『長野金沢交流セッション』事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人長野門前創造会議 (連絡先：長野市東町142番地2 026-217-0555)
事業区分	特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	454,000円 (うち支援金：326,000円)

事業内容

実施日程 年3回 (平成27年度 8月、10月、12月)

内容

【第一部】(トークセッション)

長野5名、金沢5名をパネリストに迎え、トークセッションを行う。パネリストは同じ分野で活躍している方々を迎え、その分野での具体的な交流方法や、将来的な展望について話し合う。

【第二部】(テーブルフリートーク、コラボイベント)

一般参加者も加わり、グループ毎のフリートークで更に細かい提案をしてもらおう。又長野金沢の同じ分野の方々で実験的に作品や商品、体験などを行う。

平成27年度は下記分野(テーマ)で実施

8月女性起業家 10月学生 12月ものづくり作家



【学生編 発表の様子】

【目標・ねらい】

- ① 女性起業家
- ② 学生
- ③ ものづくり作家
- ④ 総評

事業効果

1. 【女性起業家】(長野と金沢が連携してできること)

・両地域共同してインバウンド誘致、婚活イベント、空き家対策交流、文化交流などの意見が出された。その中で文化交流として金沢の女性起業家でフラメンコ教室運営の方が、今回交流セッションにパネリストとして参加したことで人脈ができ、長野市でのフラメンコ公演を平成28年に計画している。

2. 【学生】(地域間交流で私たち学生ができること)

・家チェンジプロジェクト、おばあちゃんの家ホームステイ、海山バックパッカーズ、交換寺子屋など両市の強みを生かしたり、現在の立場を交換したりとユニークな学生ならではのアイデアが出された。

3. 【作家】(長野と金沢がものづくりで連携できること)

・商店街を作家がギャラリーとして借りるイベント、交流展覧の芸術から体験する芸術へなど。

4. 金沢から参加したパネリストは長野に対しての知識や興味がなかったようだが、交流セッションに参加したことで長野の人や街、歴史に大変な関心を持ってくれたと感じる。街が繋がるという事は人が繋がること、を実感できた。それぞれの人脈が今後の街を繋げる仕掛けをしてくれればと期待している。

今後の取り組み

・「長野金沢の街を繋げるという事はまず人を繋げる事」を意識して事業を行った。実際に金沢の起業家が長野で講演を計画したり、作家同士がイベントを考えたりと来年度に向けて動きが出ている。新幹線によって時間短縮になり、人が繋がり更に近い街という認識がもてた。今後事業やイベントの連携に拍車がかかると考える。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※自己評価【A】

【理由】

当初4回開催する予定だったが、3回に変更となった。しかし、その3回では予想を上回る効果が得られた。地域間での新たな人の繋がりができ、事業やイベントに連携できそうなパイプができた。